

Osmo を海の近くの構造物・既設構造物へ使用する際の注意事項

海の近くの構造物や既設構造物に Osmo を塗布した場合、白くなる事があります。これは構造物の表面に付着しているカルシウム、マグネシウム（海上から飛来するもの及び凍結防止剤に含まれるもの）と Osmo が反応するためです。場合によっては一面着色したように白くなる事があります。Osmo の性能の発揮には問題ないのですが、美観上の問題があります。けい酸塩系の改質剤はメカニズム上 Osmo と同様に白くなる事が想定されます。

少量の試し塗りを行い、白化するかどうか確認のうえ施工してください。白化する場合には既設構造物の表面に付着しているカルシウム等を（高温）高圧洗浄又はアルカリ性の洗剤で高圧洗浄して取り除く必要があります。それでもとれない場合は、ケレンをかけてください。ケレンをかける場合には、コンクリートの表面を傷めることとなりますので、発注者との事前打ち合わせをお願いします。（ケレンにより発生が予測される微細なクラックは Osmo を塗布する事により閉塞されます）

白化しましても、雨水のかかる場所の場合は時間の経過とともに薄くなり分からなくなる事があります。

けい酸塩系含浸材に発生した過去の事例が 137 コンクリートライブラリー「けい酸塩系表面含浸工法的设计施工指針（案） 土木学会」に掲載されております（5章けい酸塩系表面含浸工法の不具合事例 194～198 頁）のでご参照ください。

写真（白化した事例）

